

成田市教育委員会会議事録

令和4年5月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和4年5月24日 開会：午後2時 閉会：午後2時55分

会 場 成田市役所6階中会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 勲
委 員	岡 本 秀 彦
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部長	堀 越 正 宏
教育部担当次長	小 川 雅 彦
教育総務課長	伊 藤 真理子
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	林 英 樹
教育指導課長	廣 田 一 利
教育指導課総務情報係長	上 地 京 子
教育指導課副主査	平 山 哲 史
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	鈴 木 孝
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	卷 嶋 菊 江
教育総務課長補佐 (書記)	加 藤 剛

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 佐藤委員、岡本委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○5月16日、17日、19日 教職員人事評価制度に係る教育長面談について

校長の人事評価に係る目標申告を聞き取るための面談を行いました。大栄みらい学園が開校した昨年度から学校数が5校減り、面談時間もその分少なくなり、私自身の日程調整も容易になりましたが、校長先生方の話を聞き始めると、ついつい長くなり、予定の時間では終わることができませんでした。それだけ各学校の校長先生方の思いが強く感じられ、皆さん本当に気持ちを込めて学校の運営をされているのだと思いました。その中で、今回特に強く感じたことは小学校と中学校との接続の問題です。本市には小中一貫校が2校、他の学校は小中連携教育を行っているのですが、その小と中の関係の部分で、壁をつくっているのは教師自身であるということ強く感じたのです。というのも、ある中学校の校長先生は昨年度まで市内の小学校の校長でした。そこで小学校のきめ細かい指導に感心したこと。さらに、先生方が子どもたちを呼ぶさい、「〇〇さん」と「さん」づけで呼んでいたこと。これが中学校に進むと、途端に講義形式の授業が多くなるのと、教師が生徒を呼ぶとき、特に男性教師は生徒を「〇〇」と、名前を呼び捨てにすることが多く、小学校から中学校へ進む際に大きなギャップになっていると捉えていました。とりわけ男性教師が女子生徒の名前を「〇〇」と呼び捨てにしている状況は不祥事を引き起こす要因にもなりかねないことから何としても改善しなくてはならない、と述べていました。私もこの話に全く同感で、このことは是非、市内全校で改善を図るべきだと思いましたので、今週末に開催予定の教頭会議において、しっかり指導したいと思います。

その他

○4月29日 桃園市オンライン交流事業について

祝日で学校は休みでしたが、文化国際課主催で市内の小・中・高校生及び大学生に呼びかけて姉妹都市である台湾の桃園市の子ども達とのオンライン交流会が開催されることになりました。

私は午前中に行われた本市の小学生の交流に参加しました。あらかじめ希望をとっての参加でしたが、小学校2年生から6年生まで13名が参加し、桃園市の3年生から6年生、14名との交流を行いました。他国とのオンラインでの交流は、間に通訳を介して行うことが多く、なかなか思い通りにいかないものですが、ぎこちなさの中にも積極的に交流しようとする意欲を持った子もいて、参加した子どもたちにとっては良い体験になったものと思います。なお、今回の行事は文化国際課主催と言いましたが、仕掛け人は千葉県の商工労働部海外プロモーション班で、県の施策の一つであり、これに成田市が手を挙げた形になっています。したがって、通訳の配置や、オンライン機材の準備などにも支援していただきました。

○5月10日 令和4年度第1回教科用図書印旛採択地区協議会について

今年度第1回目の教科用図書印旛採択地区協議会は、今回の事務局となる富里市で開催されました。この日は協議会委員の自己紹介と、会長など役員を選出、専門調査員の選任等を行いました。その結果、今年度は富里市の吉野教育長が会長を務め、専門調査員も5名選出されました。今回は特別支援学級で使用する教科用図書、いわゆる附則9条本の採択が中心となります。

○5月12日、13日 第72回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会山口大会について

昨年、一昨年と中止されていた全国都市教育長協議会でしたが、本年度は山口市で開催できました。今年度の参加都市は500市を超えたとのことですが、会場は山陽新幹線新山口駅前にあって、2,000人を収容できる「KDDI 維新ホール」という素晴らしいホールで行われました。ここでは、コロナ感染防止の観点から参加者の座る席を1つおきにした他、休憩時には出入り口を開放し外の新鮮な空気を入れるなどして、できる限りの感染予防策を講じていました。

大会初日の午前中は総会と文部科学省から講師を招いた講話がありました。今回は初等中等教育局初等中等教育企画課長の水田 功氏が予定された1時間半を超えて熱心に説明されました。また、午後からは教育行財政、学校教育、生涯学習と、全体を3つの部門に分けて、それぞれの分科会において提案及び協議が行われました。私は教育行財政部門に参加しましたが、今回は「幼児教育と小学校教育の架け橋」「学校の適正規模・適正配置」の2つがテーマとして取り上げられており、文科省からもそれぞれの分野を専門とする職員も参加しておりました。協議内容をここで詳しくお伝えすることは致しませんが、どの地域の学校も同じような課題を抱え、その解決に向けて様々な手立てを講じていることがよくわかりました。

なお、この協議会は2日間にわたって行われましたが、初日の協議が終了した午後5時から、アトラクションとして、まず、地元の小郡中学校吹奏楽部の演奏がありました。この中学校の吹奏楽部は全国吹奏楽コンクールで銀賞を獲得した他、全国マーチングバンドコンテストでも同じように銀賞を獲得するなどの実績がある吹奏楽部で、本当に感動的な演奏をしてくださいました。そして、この演奏の後は全校児童20数名という小規模校小浜小学校の2年生から6年生17名による「重源太鼓」の演奏、さらに地元出身の詩人、中原中也の詩の朗読にあわせた舞踊の披露等々、全体で1時間ほどのアトラクションでした。今まで様々な地域でこうした大会に出席しましたが、これほど長い時間のアトラクションは経験がありません。3年越しの大会をいかに待ちわびていたか気持ちの伝わる催しでした。この大会、千葉県から参加の教育長は、県の都市教育長協議会の会長など役員の方も出席されていたかとは思いますが、私の他は、松戸市、船橋市、浦安市の3人しか見出すことができませんでした。ホテルから大会会場までは貸し切りバスで40分弱。この行き帰りも、大阪府池田市、島根県江津市、岐阜県各務原市の各教育長と隣り合わせ、互いの地域の教育の実態や課題について話しましたが、全国ならでの催しは、協議会における話し合いも含めて、自分自身の意欲の喚起につながる貴重な時間となりました。

○5月14日 令和4年度成田市生涯大学院入学式について

昨年度及び一昨年度はコロナ禍により開催できなかった生涯大学院の入学式を、今年度は市役所の大会議室で感染対策を講じた上で開催いたしました。

今年度入学者は第44期生、54名となります。まだまだコロナの勢いが完全に収まったわけではなく油断はできませんが、感染予防対策が当たり前になっているので、これからは通常通りの活動ができるのではないかと期待しております。

○5月20日 令和4年度成田ユネスコ協会定期総会について

この総会もコロナの影響で昨年、一昨年と開催できずにおりましたが、今回は市役所大会議室で開催の運びとなりました。私は市長、副市長、議長と共に最初の開会行事に出席したのみですが、ユネスコ協会の構成メンバーの高齢化が進んでいることを実感しました。と言うのも、10年前、私が初めてこの会に出席した頃と出席者のメンバーがほとんど変わっていないからです。これは他の団体にも共通したことですが、活動に関心を持った若い方の参入が望まれます。

○5月23日 公益財団法人印旛郡市文化財センター第114回理事会について

今年度最初の文化財センター理事会が開催されました。今回はこれまで代表理事を務めていた佐倉市の茅野教育長が昨年度末をもって退任されたため、新たな代表理事として、本年4月から佐倉市の教育長に就任された圓城寺一雄氏が着任したことから今年度の文化財センターの組織体制及び事業予定について報告があり、その後、「令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算の承認について」と、「公益財団法人印旛郡市文化財センター第11回定時評議員会の召集について」の2議案を審議し、これを承認しました。印旛郡市文化財センターの受託事業については、直近3年間を見ると、事業費及び事業件数も減少傾向にあり、再び厳しい状況になっていますが、今後、印西市で大規模な開発が予定されているとのことで、これに関連して事業件数も増加する見込みとなっています。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：先ほど教育長が冒頭でおっしゃられた、小学校と中学校の接続の問題で、中学校の先生の呼び捨てに関しては同感で、私の子どもが行っていた15年前、当時の大栄中学校は荒れていまして、保護者会に行ったときに、説明する先生方の口調が荒いなという印象を受けました。自分の中学生の時も決して上品ではなく、当時は当たり前だと思っていただけども、それは間違いで、先生方が生徒をまずは「さん」付けて呼ぶことで、学校の雰囲気の良いものにしていくのかなと感じました。

話は変わりますが、阿武町で誤送金問題があって、人のものを間違っって受け取ったら返すのが当たり前であって、日本人の大部分は返すのが当たり前という人たちばかりだと思うのですが、誤って送金した方が悪い、もらったもの勝ちと言わんばかりの意見が少なからずあり、寂しい気持ちになりました。

日暮委員：自分自身が仕事を辞めてほぼ毎日自宅におりますので、地域の様子が結構見えるようになってきました。この1か月は小学生の様子がよく見えて、小学1年生が、4月当初は父親であったり母親であったり、あるいはおじいちゃんおばあちゃんであったりと、付き添われて緊張して登校し、お昼ごろで下校してくる様子を垣間見ることができました。ゴールデンウィークを過ぎたあたりから、お父さんお母さんが途中までの見送りであったり、あるいはきょうだいと一緒に歩いて登校したりという様子も見られるようになって

できました。また最近、午後2時くらいになると、1年生だけでまとまって歩いて帰る様子も見受けられるようになり、横断歩道をしっかり渡っている姿を見て、とても感心しているところです。ただ、まだまだ体が小さいので、やはり車から見ると死角に入ってしまうことがあるんじゃないかなとヒヤヒヤしている部分もあります。車を運転する方には、十分配慮してほしいなと願うばかりなのですが、2時くらいの1年生の下校時間帯に、市の防犯パトロールのいわゆる青パトが巡回してくださっている場面を見て、注意喚起をしていた内容が振り込め詐欺であるとか、どちらかといえば大人の内容のものでした。せっかくの機会ですので、子どもたちの交通安全に更に配慮していただけたらと思っております。教育委員会と青パトの担当課である交通防犯課とが、ぜひ連携して運転をする方への注意喚起をさらに深めて、子どもの交通事故ゼロの成田市になっていただきたいと思います。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第7号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号 成田市立中台小学校長寿命化改修工事（建築工事）請負契約の締結について

議案第2号 成田市立中台小学校長寿命化改修工事（電気設備工事）請負契約の締結について

議案第3号 成田市立中台小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）請負契約の締結について

越川学校施設課長：

この3議案は、成田市学校施設長寿命化計画の中期計画に位置付けられた中台小学校について、構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高め、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる教育環境の整備など、現代の様々な社会

的要請に対応した施設の長寿命化を図るため実施するもので、各議案に示す内容により、工事請負契約を締結するにあたり、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるよう市長に申し入れるものでございます。

議案第1号「成田市立中台小学校長寿命化改修工事（建築工事）請負契約の締結について」であります。5月6日に電子入札システムを利用した総合評価方式による制限付き一般競争入札を行いましたところ、1者からの入札があり、総合評価の結果、株式会社ナリコーが落札者と決定いたしましたので、議案にお示した内容により、6億9,300万円をもって同者と契約をしようとするものです。

議案第2号「成田市立中台小学校長寿命化改修工事（電気設備工事）請負契約の締結について」であります。5月10日に電子入札システムを利用した総合評価方式による制限付き一般競争入札を行いましたところ、4者からの入札があり、総合評価の結果、株式会社大英電業社が落札者と決定いたしましたので、1億9,250万円をもちまして同者と契約をしようとするものです。

議案第3号「成田市立中台小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）請負契約の締結について」であります。5月9日に電子入札システムを利用した総合評価方式による制限付き一般競争入札を行いましたところ、2者からの入札があり、総合評価の結果、株式会社サンショウ冷熱が落札者と決定いたしましたので、1億8,479万1,200円をもちまして同者と契約をしようとするものです。

続きまして、工事の概要についてご説明申し上げます。議案資料をご覧ください。

1ページが位置図となります。2ページが配置図となり、網掛けの東棟及び西棟校舎が工事の対象で、内外装材や建具等を全て撤去し、構造体のみを残した状態にして改修を行うものでございます。3ページから6ページまでが各階の平面図で、改造前と改造後の図でございます。

東棟・西棟校舎は、鉄筋コンクリート造3階建て、延べ床面積3,801.7平方メートルで、東棟の1階に児童ホームを併設します。1階は職員室などの管理諸室及び特別支援教室を配置します。2階は、普通教室や多目的教室、中央に図書室を配置します。3階は理科室や音

楽室などの特別教室、少人数教室などを整備します。

このほかに、校舎内の多目的トイレの整備、さらに太陽光発電や蓄電池設備、LED照明を整備するとともに、建物の内装に木製品を使用してあたたかみのある教室とするなど、教育環境の改善を図ろうとするものでございます。7ページ、8ページは立面図となります。

工期につきましては、契約日の翌日から令和5年7月31日までを予定しております。

《議案第1号から議案第3号に対する質疑》

佐藤委員：今の説明の中に蓄電設備がありましたが、今までに改修工事をしてきた中では、蓄電設備はなかったように思いますが。

越川学校施設課長：これまでの工事では、太陽光発電と併せて蓄電設備を一緒に整備しております。太陽光発電を導入した当初3校が太陽光発電のみでございまして、その後は蓄電設備を併せて整備しております。

関川教育長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第1号「成田市立中台小学校長寿命化改修工事（建築工事）請負契約の締結について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第2号「成田市立中台小学校長寿命化改修工事（電気設備工事）請負契約の締結について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

次に、議案第3号「成田市立中台小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）請負契約の締結について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第4号 令和4年度6月補正予算要求書（教育費関係予算）の提出について

伊藤教育総務課長：

それでは、議案第4号「令和4年度6月補正予算要求書（教育費関係予算）の提出について」、ご説明申し上げます。本案につきましては、成田市議会6月定例会に提出する補正予算案がまとまりましたので、教育委員会会議の議決をいただきまして、市長に申し入れを行うものでございます。

今回の補正は、学校環境衛生事業において、歳入、歳出の増額をしようとするものです。また、小学校仮設校舎整備事業において、久住小学校仮設校舎借上料の債務負担行為の限度額を変更しようとするものでございます。

それでは、資料でご説明いたします。資料の2ページをご覧ください。上段が歳入予算の一覧でございます。教育費国庫補助金といたしまして、「学校保健特別対策事業費補助金」を1,890万円の増額とするものです。下段が歳出予算の一覧でございます。学校保健費といたしまして、「学校環境衛生事業」で3,896万5千円を増額しようとするものでございます。

詳細につきましては、3ページ以降の資料により、各担当課長からご説明させていただきます。

越川学校施設課長：

それでは、学校施設課の小学校仮設校舎整備事業についてご説明いたします。議案第4号資料3ページをご覧ください。

まず、事業の概要ですが、久住小学校区の児童数増加による一時的な教室不足について、解消を図るためプレハブ仮設校舎を借上げるもので、保育課の事業の久住児童ホームと併せて借上げることでございます。仮設校舎と児童ホームの予算は、面積割合等によって算出し債務負担行為を設定しておりました。基本設計が完了し、当初、平屋で設置すると想定した案より、2階建てとする新たな案がグラウンド等を有効に活用できるため、2階建ての案とすることに決

定しました。その変更に伴い、面積割合が変わり、児童ホームに係る設計額が限度額を超えることになることから、債務負担行為の変更しようとするもので、久住小学校仮設校舎借上料の債務負担行為の限度額を9,586万円から7,697万2千円に変更しようとするものです。

なお、債務負担行為の期間につきましては変更ありません。

廣田教育指導課長：

続きまして、教育指導課に係る補正予算についてご説明いたします。資料は4ページをご覧ください。

これは、令和3年度の国の補正予算に計上され、学校等における新型コロナウイルス感染症対策の徹底と児童生徒の学習保障を図るための消耗品や備品の購入等にかかる経費を補助する事を目的とした「学校保健特別対策事業補助金」で、令和4年度も引き続き実施されることが決定しました。この事業は、学校の規模等に応じて1校当たり45万円から90万円が各学校に配当されるものであります。本市においてはこの補助金を活用して教室で行うオンライン授業などで使用する大型ディスプレイなどの感染症対策用備品の購入にかかる経費に充てるものでございます。各学校に設置するディスプレイの台数は全体で252台と考えておりますが、ディスプレイの仕様及び配置場所等の詳細につきましては、現在配置しているテレビの設置状況や活用状況を調査してから決定したいと考えます。このディスプレイを積極的に活用したICT教育が、より一層推進されることを期待しております。

《議案第4号に対する質疑》

日暮委員：教育指導課の方の大型ディスプレイなのですが、例えば学年に1台であるとか、どういう基準で配置されるのでしょうか。

廣田教育指導課長：普通教室の割合で、56.8パーセントの配置率になります。現在配置しているテレビよりも更に大型のものを想定しております。なお、テレビ機能がないディスプレイとなり、フロアをまたいでの持ち出しは避けたいと考えております。このため各フロアに2台程度を基準とした配置を考えております。

岡本委員：ディスプレイは持ち運びができるものでしょうか。コロコロと動かせるのでしょうか。

廣田教育指導課長：そういった関連備品を含めて考えております。ただ、階段を上げ下げするのは、やはり精密機器でもありますので避けたいと考えます。タイヤ等は付属しており基本的にはフロアの中での移動は可能という仕様をイメージしております。

関川教育長：その他、ご質問等ございますか。特にないようですので、議案第4号「令和4年度6月補正予算要求書（教育費関係予算）の提出について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第5号 成田市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

鈴木学校給食センター所長：

本案は、成田市学校給食センターの設置及び管理に関する条例第5条に基づく成田市学校給食センター運営委員会委員について、任期が令和4年5月31日をもって満了となりますので、同条例第6条第2項の規定により、新たに委員を委嘱しようとするものです。任期につきましては、同条例第7条により2年とし、令和4年6月1日から令和6年5月31日までとなります。

委嘱する委員につきましては、まず、同条例第6条第2項第1号により公立学校長として2人の方を委嘱いたします。西宮信吾委員は、美郷台小学校長で、再任となります。井上功太郎委員は、本城小学校長で、新任となります。

次に、同項第2号により公立学校保護者として4人の方を委嘱いたします。森屋徹委員は、成田地区の児童生徒の保護者で再任となります。岩舘司委員は、同じく成田地区の児童生徒の保護者で再任となります。石川久美子委員は、下総地区の児童生徒の保護者で再任となります。安美留瞳委員は、大栄地区の児童生徒の保護者で新任となります。

次に、同項第3号により識見を有する者として3人の方を委嘱いたします。京増芳則委員は、成田市医師団より選出いただいております。京増内科クリニックの院長で、再任となります。白石優子委員は、小田内科医院の小児科医師、アレルギー専門医で、再任となります。最後に三橋恒子委員は、成田市薬剤師会より選出いただいております。有限会社一粒丸三橋薬局の代表取締役で、再任となります。

《議案第5号に対する質疑》

特になし

関川教育長：特にないようですので、議案第5号「成田市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第6号 成田市公民館運営審議会委員の委嘱について

大隅公民館長：

本案は、成田市公民館の設置及び管理に関する条例第17条に基づく成田市公民館運営審議会の委員について、任期が本年6月30日をもって満了となりますことから、同条例第18条の規定により、新たに10名の委員を委嘱しようとするものでございます。なお、任期につきましては、令和4年7月1日から令和6年6月30日までの2年間となります。

委嘱する委員につきましては、まず、同条例第18条第2項第1号により、学校教育の関係者として、成田市校長会のご推薦をいただきました、遠山小学校長の麻生辰浩氏でございます。再任となります。

次に、同項第2号により、社会教育の関係者として、成田市社会教育委員のご推薦をいただきました磯前勉氏と、成田市子ども会連絡会のご推薦をいただきました千葉秀幸氏の2名でございます。磯前氏、千葉氏ともに新任となります。

次に、同項第3号により、家庭教育の向上に資する活動を行う者として、高木麻由子氏でござ

ざいます。再任となります。高木氏は、上は中学生から下は3歳までの4人の子育て中であり、なりた子育て応援サイトにあります「なりすく」のボランティア編集員として情報発信をされております。

次に、同項第4号により、公民館の利用者として、佐々木有希氏、居附悦子氏、天野義夫氏の3名でございます。佐々木氏は再任、居附氏と天野氏は新任となります。佐々木氏は、遠山公民館におきまして、10年近くフラダンスサークル「フラ オ ウイラニ」で活動されております。居附氏は、成田公民館におきまして、編み物制作のサークル「やよいの会」の代表として長く活動されており、また、公民館まつり実行委員会のメンバーとしてもご活躍されております。天野氏は、玉造公民館で活動している、市内唯一のフルオーケストラ「成田フィルハーモニー管弦楽団」で活動されております。

次に、同項第5号により、識見を有する者として、富澤優江氏、木川義夫氏、長澤成次氏の3名でございます。富澤氏は新任、木川氏と長澤氏は再任となります。富澤氏は、長年にわたり本市の就学時検診時の子育て講座や家庭教育学級の講師としてご活躍されており、幅広い知見をもとに公民館主催講座の家庭教育支援事業について、貴重なご意見をいただけるものと期待しております。木川氏は元本市職員で、公民館長も務められた方であり、現在の任期中には、諮問を受けた「家庭教育支援事業の活性化について」の答申のとりまとめに審議会会長として、ご尽力いただくなど、今後も社会教育の拠点としての公民館の機能を引き出すご提言をいただけるものと期待しております。長澤氏は社会教育、特に公民館学の泰斗として日本の公民館をけん引してこられた第一人者であり、公民館研究に日々携わっております。社会教育分野について造詣が深く、他市の事例にも精通されていることから、今後も公民館の課題解決に対して、多角的なご意見をいただけるものと期待しております。

《議案第6号に対する質疑》

特になし

関川教育長：特になさいますので、議案第6号「成田市公民館運営審議会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第7号 成田市立図書館協議会委員の委嘱について

巻嶋図書館長：

本案は、成田市立図書館協議会委員につきまして、1人の欠員が生じたため、委員の委嘱を行おうとするものです。

令和4年3月31日付で、第1号委員「学校教育の関係者」である、公津の杜小学校校長の半田康氏が退職されたことに伴い、成田市校長会より後任としてご推薦をいただきました、吾妻中学校校長の坂尾稔氏を新たに委員に委嘱しようとするものです。なお、任期につきましては、成田市立図書館設置条例第3条の規定により、前任者の残任期間とりますので、令和5年6月30日までとなります。

《議案第7号に対する質疑》

特になし

関川教育長：特になさいますので、議案第7号「成田市立図書館協議会委員の委嘱について」

を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

(2) 報告事項

報告事項第1号及び報告事項第2号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開で報告を受ける。

報告第1号 令和4年度教科用図書印旛採択地区協議会委員の決定について

報告第2号 令和4年度教科用図書印旛採択地区協議会専門調査員の決定について

《非公開を解く》

6. その他

岡本委員：児童生徒のマスクの着用について、着けても着けなくてもということであると、着けることになってしまう。こういった場面では外しなさいと積極的に声をかけても良いのではないかと思います。これから暑くなって身体的に厳しくなるし、熱中症の危険も出てきます。大人も外しましょうと言わなければ外すようにならないけれども、子どもにはより積極的に示す必要があると思います。

佐藤委員：新型コロナが発生してから、校長先生方はいろいろな場面で判断をする必要があり大変な思いをしてこられたと思います。しかし、状況が厳しい時というのは、安全重視の舵取りを要請され、独自の判断を下す場面はごくわずかだったに違いありません。コロナ禍が次第に落ち着いてくると、それぞれの置かれた立場で他校とは違った判断を迫られることも出てくるでしょう。経験の浅い校長先生にとっては、これからの方が大変かと思います。元の学校生活に戻す過程で、教育委員会がある程度指針を出していただけたらありがたいです。

7. 教育長閉会宣言